環境、つなぐ未来。

NICHICON

NIPPON CONCEPT CORPORATION

第30期 中間報告書

2023年1月1日 ▶ 2023年6月30日



日本コンセプト株式会社

証券コード：9386

株主の皆様へ

ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第30期第２四半期連結累計期間（2023年１月１日から2023年６月30日まで）における当社の取組みをご報告申し上げます。

当第２四半期連結累計期間は、中国の内需低迷により大量の余剰製品がアジア・欧州市場に流れ込み、化学品市況が下落を続ける一方、天然ガスや電気といった燃料価格の高騰により多くのメーカーが減産を行った結果、日本からの輸出は大幅に落ち込みました。

こうしたビジネス環境下においても、当社は国内の支店網とタンクコンテナの特色を活かした附帯サービスに加え、2024年問題に対して全国８か所の支店を活用したSTOCK & DELIVERYの提案による長距離輸送の削減提案を推進するなど旧来の国内輸送形態からの変更案件の獲得に注力しております。

一方、高圧ガス事業におきましても、６月１日付で「日コン外航ガスタンクケミカル株式会社」を設立するとともに新潟支店の開設準備を進め、更なる事業拡大をはかっております。

ウクライナでの戦争や、物価の上昇、大幅な為替変動など不透明要因は残るなかではありますが、当社グループとしましては今後も全社一丸となって業務に邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き、何卒一層のご支援とご指導を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2023年8月
代表取締役社長　**松元　孝義**

日本コンセプト株式会社　企業理念

1. わたしたちは、地球の環境破壊を防ぎ、反復利用できる輸送容器を活用した国際総合物流サービスを通じ、人類が未来永劫に亘り活躍できる社会の維持に貢献します。
2. わたしたちは、働く厳しさと喜びを共有するボーダレスな国際総合物流カンパニーとして、高品質でお客様にご信頼いただけるサービスを、責任をもってご提供いたします。
3. わたしたちは、修練された技術のサービスをご提供するため、日頃より克己して研鑽に努めます。
4. わたしたちは、広く社会全体に奉仕する公共性と豊かな国際性を備えた、社会に誇れる環境国際物流企業として邁進します。

事業の概況

当第２四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高9,020百万円、営業利益1,960百万円、経常利益2,097百万円、親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益は1,459百万円となりました。

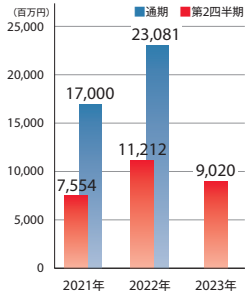
ゼロコロナ政策撤廃後も続く中国の内需低迷により、大量の余剰製品が中国からアジア・欧州市場に流れ込み、化学品市況が幅広く下落を続ける一方、日本のメーカーは海外に比べ非常に高い天然ガス料金や電気料金といった燃料価格の高騰もあり、多くのメーカーが減産を行った結果、日本からの輸出は大幅に落ち込みました。

当社グループの貨物輸送関連の売上高は前年同期を下回りましたが、こうしたビジネス環境においても日本国内の支店網とタンクコンテナの特色を活かした貨物の保管業務や加温業務等の附帯サービスに加え、2024年問題が来年4月に迫るなか、モーダルシフトの活用、当社全国8か所の支店を活かしたSTOCK & DELIVERYの提案による長距離輸送の削減提案を推進するなど旧来の国内輸送形態からの変更案件の獲得に注力しております。

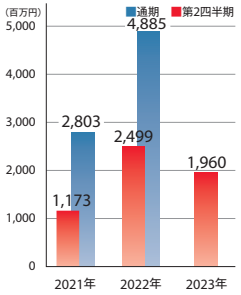
他方、高圧ガスビジネスにおいては、昨年10月にガス・環境ソリューション部を立ち上げ、主にフロンガスを中心とした高圧ガス専門の営業部隊による業務を推進、着実に実績を伸ばしております。2017年に高圧ガスビジネスに参入以来、７期連続して売上が伸びており、当第２四半期連結累計期間における売上高は、462百万円（前年同期は437百万円）となりました。

財務ハイライト（連結）

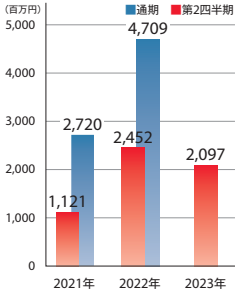
■売上高



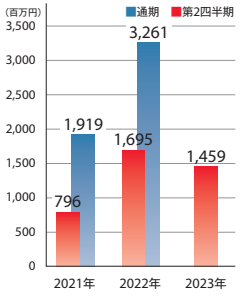
■営業利益



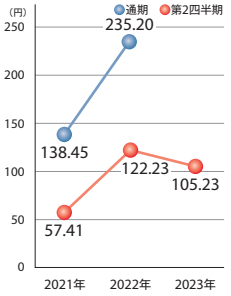
■経常利益



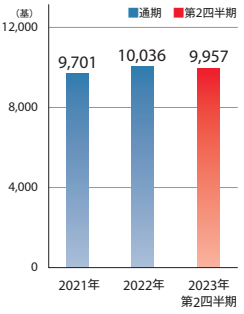
■親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益



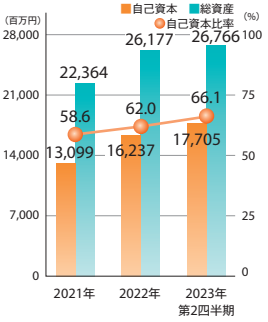
■1株当たり四半期（当期）純利益



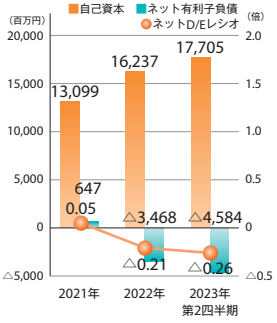
■タンクコンテナ保有基数



■自己資本比率



■ネットD／Eレシオ※



※ ネットD／Eレシオ（倍）＝（有利子負債－現預金）÷自己資本 … 長期の支払能力（安全性）をはかる指標

TOPICS

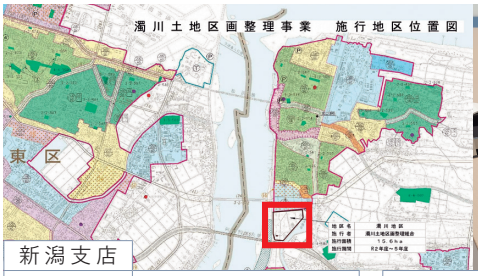
新会社の設立

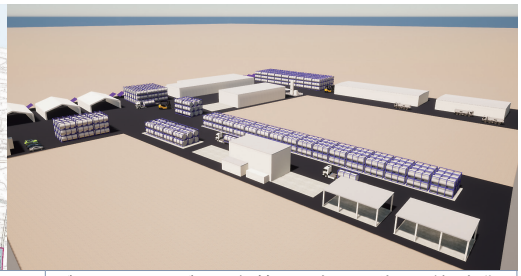
当社は2023年6月1日で、高圧ガス事業に特化した新会社「日コン外航ガスタンクケミカル株式会社」を設立いたしました。

高圧ガス事業は、これまで京葉臨海支店と阪神支店の2カ所にて運営してまいりましたが、お客様の旺盛なニーズにお応えするため新たに新潟市に約8,500坪の土地を購入し、新拠点の建設を進めております。新潟支店が完成すると国内における高圧ガスの事業拠点は3カ所となり、高圧ガス事業の更なる拡大に邁進してまいります。

環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

新会社	
名称	日コン外航ガスタンクケミカル株式会社 （英名：NICHICON OVERSEAS GASTANK CHEMICAL Co., Ltd）
所在地	東京都千代田区内幸町2-2-2
代表者	代表取締役社長　松元孝義
事業内容	①フロンガスをはじめとした各種ガスの回収、再生、破壊、除害 ②貨物利用運送事業 ③倉庫業





新潟支店	
所在地	新潟県新潟市濁川地内
敷地面積	約8,500坪

サービス	
	ガス：フロンガスの保管、回収、再生及び無害化
	ケミカル：保管、加温及び詰め替えサービス
	共通（ガス、ケミカル） タンクコンテナのメンテナンス及び修理

連結業績推移

区　分		第27期 (2020年12月期)	第28期 (2021年12月期)	第29期 (2022年12月期)	第30期第2四半期 (2023年12月期)
売上高	(百万円)	12,277	17,000	23,081	**9,020**
売上総利益	(百万円)	2,906	4,348	6,836	**2,889**
営業利益	(百万円)	1,496	2,803	4,885	**1,960**
経常利益	(百万円)	1,450	2,720	4,709	**2,097**
親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益	(百万円)	1,029	1,919	3,261	**1,459**
純資産	(百万円)	11,404	13,099	16,237	**17,705**
総資産	(百万円)	19,008	22,364	26,177	**26,766**
１株当たり純資産額	(円)	822.39	944.61	1,170.85	**1,276.73**
１株当たり四半期（当期）純利益	(円)	74.25	138.45	235.20	**105.23**
自己資本比率	(%)	60.0	58.6	62.0	**66.1**
自己資本当期純利益率	(%)	9.3	15.7	22.2	**8.6**
営業活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	2,241	2,546	5,703	**2,481**
投資活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	△ 3,494	628	△ 555	**△ 1,751**
フリーキャッシュ・フロー	(百万円)	△ 1,252	3,174	5,147	**729**
財務活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	△ 1,425	△ 1,253	△ 1,530	**△ 614**

連結財務諸表

四半期連結貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

科　目	第28期 (2021年12月31日)	第29期 (2022年12月31日)	第30期第2四半期 (2023年6月30日)	増　減
【資産の部】				
流動資産 (※1)	9,707	13,622	13,523	△ 99
現金及び預金	5,990	9,824	10,801	976
受取手形、売掛金及び契約資産	2,472	3,136	2,293	△ 843
その他	1,245	762	537	△ 224
貸倒引当金	△ 1	△ 100	△ 109	△ 8
固定資産 (※2)	12,657	12,554	13,243	688
有形固定資産	12,120	11,995	12,658	663
建物及び構築物（純額）	1,580	1,384	1,312	△ 72
タンクコンテナ（純額）	7,942	7,818	7,497	△ 321
土地	2,195	2,195	3,091	895
その他	401	595	757	161
無形固定資産	202	164	144	△ 19
投資その他の資産	334	395	439	44
資産合計	22,364	26,177	26,766	589

（単位：百万円）

科　目	第28期 (2021年12月31日)	第29期 (2022年12月31日)	第30期第2四半期 (2023年6月30日)	増　減
【負債の部】				
流動負債 (※3)	3,677	4,673	3,821	△ 852
買掛金	1,151	1,483	1,245	△ 237
短期借入金	110	70	70	—
1年内返済予定の長期借入金	395	520	420	△ 100
リース債務	874	837	841	4
未払法人税等	638	1,160	686	△ 473
その他	507	603	557	△ 45
固定負債 (※4)	5,586	5,266	5,239	△ 26
長期借入金	1,797	1,372	1,523	150
リース債務	3,460	3,555	3,361	△ 194
その他	328	338	354	16
負債合計	9,264	9,940	9,061	△ 879
【純資産の部】				
株主資本	12,993	15,805	17,022	1,216
資本金	1,134	1,134	1,134	—
資本剰余金	1,060	1,060	1,060	—
利益剰余金	10,798	13,610	14,826	1,216
自己株式	△ 0	△ 0	△ 0	—
その他の包括利益累計額	106	431	683	251
純資産合計 (※5)	13,099	16,237	17,705	1,468
負債純資産合計	22,364	26,177	26,766	589

※1　流動資産は、前連結会計年度末に比べ99百万円減少（0.7%減）し、13,523百万円となりました。現金及び預金が976百万円増加したものの、受取手形、売掛金及び契約資産が843百万円、その他流動資産が224百万円減少したことが主な要因です。

※2　固定資産は、前連結会計年度末に比べ688百万円増加（5.5%増）し、13,243百万円となりました。建物及び構築物（純額）が72百万円、タンクコンテナ（純額）が321百万円減少したものの、土地が895百万円、その他有形固定資産が161百万円増加したことが主な要因です。

※3　流動負債は、前連結会計年度末に比べ852百万円減少（18.2%減）し、3,821百万円となりました。買掛金が237百万円、1年内返済予定の長期借入金が100百万円、未払法人税等が473百万円減少したことが主な要因です。

※4　固定負債は、前連結会計年度末に比べ26百万円減少（0.5%減）し、5,239百万円となりました。長期借入金が150百万円増加したものの、リース債務が194百万円減少したことが主な要因です。

※5　純資産は、前連結会計年度末に比べ1,468百万円増加（9.0%増）し、17,705百万円となりました。利益剰余金が1,216百万円、その他の包括利益累計額の内、為替換算調整勘定が251百万円増加したことが主な要因です。

四半期連結損益計算書（要約）

（単位：百万円）

科　目	第28期 2021年１月１日から 2021年12月31日まで	第29期 2022年１月１日から 2022年12月31日まで	第29期第2四半期 2022年１月１日から 2022年６月30日まで	第30期第2四半期 2023年１月１日から 2023年６月30日まで	増　減
売上高 (※6)	17,000	23,081	11,212	9,020	△ 2,192
売上原価	12,652	16,244	7,833	6,130	△ 1,703
売上総利益	4,348	6,836	3,379	2,889	△ 489
販売費及び一般管理費	1,544	1,951	880	929	49
営業利益	2,803	4,885	2,499	1,960	△ 539
営業外収益	36	30	10	179	169
営業外費用	120	206	56	41	△ 14
経常利益	2,720	4,709	2,452	2,097	△ 355
特別利益	0	0	0	—	△ 0
特別損失	19	0	—	—	—
税金等調整前四半期（当期）純利益	2,701	4,708	2,453	2,097	△ 355
法人税等	781	1,447	757	638	△ 119
四半期（当期）純利益	1,919	3,261	1,695	1,459	△ 235
親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益	1,919	3,261	1,695	1,459	△ 235

四半期連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

（単位：百万円）

科　目	第28期 2021年１月１日から 2021年12月31日まで	第29期 2022年１月１日から 2022年12月31日まで	第29期第2四半期 2022年１月１日から 2022年６月30日まで	第30期第2四半期 2023年１月１日から 2023年６月30日まで	増　減
営業活動によるキャッシュ・フロー (※7)	2,546	5,703	2,737	2,481	△ 255
投資活動によるキャッシュ・フロー (※8)	628	△ 555	△ 189	△ 1,751	△ 1,561
フリーキャッシュ・フロー	3,174	5,147	2,547	729	△ 1,817
財務活動によるキャッシュ・フロー (※9)	△ 1,253	△ 1,530	△ 819	△ 614	205
現金及び現金同等物に係る換算差額	83	121	202	240	38
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	2,004	3,738	1,930	356	△ 1,574
現金及び現金同等物の期首残高	1,430	3,435	3,435	7,173	3,738
現金及び現金同等物の四半期末（期末）残高	3,435	7,173	5,366	7,530	2,163

※6　ゼロコロナ政策撤廃後も続く内需低迷から、中国の余剰製品がアジア・欧州に流れ込んだことから化学品市況が幅広く下落を続ける一方、日本のメーカーは燃料価格の高騰もあり、多くのメーカーが減産を行った結果、日本からの輸出は大幅に落ち込みました。
　これにより当社グループの貨物輸送関連の売上高は前年同期を下回りましたが、こうしたビジネス環境下においても国内支店網とタンクコンテナの特色を活かした貨物の保管業務や加温業務等の附帯サービスに加え、モーダルシフトの活用、当社全国8か所の支店を活かしたSTOCK&DELIVERYの提案による長距離輸送を推進するなど旧来の国内輸送形態からの変更案件の獲得に注力しております。
　他方、高圧ガスビジネスにおいては、昨年10月にガス・環境ソリューション部を立ち上げ、主にフロンガスを中心とした高圧ガス専門の営業部隊による業務を推進、着実に実績を伸ばしております。2017年に高圧ガスビジネスに参入以来、7期連続して売上が伸びております。

※7　営業活動の結果得られた資金は、2,481百万円（前年同四半期は2,737百万円の収入）となりました。主な資金の増加要因は、税金等調整前四半期純利益2,097百万円、減価償却費714百万円、売上債権960百万円の減少であり、主な資金の減少要因は、仕入債務312百万円の減少、法人税等の支払額1,084百万円です。

※8　投資活動の結果支出した資金は、1,751百万円（前年同四半期は189百万円の支出）となりました。主な資金の減少要因は、定期預金の純増加額571百万円、有形固定資産の取得による支出1,149百万円です。

※9　財務活動の結果支出した資金は、614百万円（前年同四半期は819百万円の支出）となりました。主な資金の増加要因は、長期借入れによる収入450百万円であり、主な資金の減少要因は、長期借入金の返済による支出399百万円、リース債務の返済による支出422百万円、配当金の支払額242百万円です。

■ 会社の概要

社名	日本コンセプト株式会社
設立	1994年1月
資本金	11億34百万円
従業員数	197名（連結）
業種	ISOタンクコンテナを用いた国際物流業
事業内容	・反復利用可能なタンクコンテナを活用した、サステナブルなトータルソリューションの提供 ・化学品をはじめとした各種の液体や高圧ガスの国際複合一貫輸送 ・タンクコンテナを活用した貨物の保管、加温、移し替え ・タンクコンテナのリース、メンテナンス、法定検査 ・フロンガスをはじめとした各種ガスの保管、回収、再生、無害化 ・残留貨物の適正な処分
取引銀行	三菱ＵＦＪ銀行、三井住友銀行、 みずほ銀行、商工組合中央金庫、 日本政策金融公庫、その他

■ グループ会社

日コン外航ガスタンクケミカル株式会社
NIPPON CONCEPT SINGAPORE PTE. LTD.
NIPPON CONCEPT MALAYSIA SDN. BHD.
EURO-CONCEPT B.V.
NICHICON EUROPE B.V.
NICHICON UK LIMITED.
NIPPON CONCEPT AMERICA, LLC.

■ 主な事業所所在地

本社	東京都千代田区内幸町二丁目2番2号 富国生命ビル8階
京浜支店	神奈川県川崎市川崎区浮島町12番8号
京葉臨海支店 京葉臨海高圧ガス事業所	千葉県富津市新富101番5
中部支店 中部営業所	三重県四日市市高浜新町1257番2号
神戸支店 神戸営業所	兵庫県神戸市中央区港島八丁目11番6号
阪神支店 阪神営業所	兵庫県神戸市中央区港島八丁目11番6号
水島支店 水島営業所	岡山県倉敷市玉島乙島7471番252号
徳山支店 徳山営業所	山口県下松市葉山一丁目819番13号
新潟出張所	新潟県新潟市東区船江町一丁目55番30号

■ 役員

代表取締役社長	松元　孝義	社外取締役	桜田　治
常務取締役	若園　三記生	取締役監査等委員	樋川　浩造
取締役	岩崎　祐世	社外取締役監査等委員	有賀　隆之
取締役	河村　信三	社外取締役監査等委員	相浦　義則
取締役	幸地　秀樹	社外取締役監査等委員	東郷　修平

■ 株式の状況

発行可能株式総数	46,992,000 株
発行済株式総数	13,868,500 株
株主数	4,464 名

上位10名の株主の状況

株主名	持株数（株）
松元　孝義	2,933,800
株式会社商船三井	2,080,300
山中　康利	1,341,500
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	863,700
有限会社エスアンドアール	600,000
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE FIDELITY FUNDS	532,900
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	460,500
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	312,400
株式会社三菱UFJ銀行	300,000
株式会社三井住友銀行	300,000
有限会社エムアンドエム	300,000

■ 株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
単元株式数	100株
基準日	12月31日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社　証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711（通話料無料） 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社　証券代行部
上場取引所	東京証券取引所　プライム市場
証券コード	9386
公告方法	当社の公告方法は、電子公告としております。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載して行います。 当社の公告掲載URLは次のとおりであります。 https://www.n-concept.co.jp/

（ご注意）
1．住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について
　株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
　なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社にお申し出ください。
2．未払配当金の支払いについて
　株主名簿管理人である三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社にお申し出ください。

VEGETABLE OIL INK
FSC www.fsc.org ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C022915